

## 臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	大腸癌に対するロボット支援手術の創閉鎖法に関する比較試験
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	中村 和正
研究期間	2025年3月～2030年3月
試料・情報を利用又は提供を開始する予定日	実施許可日（2025年3月27日）
対象者	2022年4月～2028年3月の間に、当院で大腸癌に対するロボット支援手術を受けた患者。
当該研究の意義・目的	腹壁癒痕ヘルニア Incisional hernia (IH) は腹部手術後合併症のひとつです。特に、正中切開創では2年後に約12.8%の発生率と報告されており、その発生予防は重要であると考えます。術後IH発生要因には様々な要因が挙げられていますが、創閉鎖の手技も影響するといわれています。そのため当院では、大腸癌に対するロボット支援手術の小開腹創閉鎖手技を従来の結節縫合から連続縫合へ変更いたしました。 本研究では縫合方法変更前後の術後成績を比較し、IH発生低減に対する影響を検討します。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 ・患者背景（年齢、性別、BMI、併存疾患など） ・血液検査結果 ・手術情報（術式、切開方法、閉鎖方法 など） ・術後の経過と予後（合併症、入院期間、腹壁癒痕ヘルニアの発生の有無）など
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。

	静岡県立総合病院
--	----------

	消化器外科 中村 和正 代表 054-247-6111
--	-----------------------------